

23/4/24（月）河村たかし名古屋市長定例記者会見（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

河村市長：いや数字では意外と違うんだね、数字はほとんど同じじゃなかったかな確か。閉まってからでも。すぐのときすぐはちょっとわからんけどあとは、数字になってくると、なぜ意外とそうわが変かと思えますけどそれ早いというか、早よう造らないとあかんですわ。

だけど何より地震があるもんで、今そうですかと言って、ぱっと開けるわけにはちょっといかんと、ものすごい耐震強度低いもんですから、だから文化庁から、お墨付き OK といただいて早く木造復元を成し遂げるというのが重要ですわね、やっぱり。

記者：名古屋城に戻るんですけど、5年前に閉じる天守閣を閉じるときは、やはりその2022年4年後にですね、木造天守ができるということ前提で、しばしのお別れみたいな方もあったと思うんですけども。結局それがこの5年経ってもね、結局、木造天守がまだできてないという現状があるわけで。先ほどもおっしゃってましたけども、そこでまだもうしばらくかかるという木造天守完成まで。そういう意味でやはり本当に仕掛けというか、名古屋城にやっぱり入場料収入っていうのがこれから大事になってくると思うんで市債の返済という意味では。やはりその間さらにまた5年、何年かかるかわかりませんが、本当に仕掛けが必要になるっていうご認識を改めてお伺いしたいんですけど。

市長：それはもう謝るよりしょうがないわねこれ。もっと早よう作ろう、もっと早く作ろうと思ったオリンピックまでには、本当はだけど。なぜだというと学術的に言うと石垣の保存方法についてですね、やっぱりいろんな立場がありということで、文化庁からは河村さんお気持ちもわかるけど、国宝1号のお城が戦争で燃えたのが12か13だったかな、みんな大体50年60年たってくると、どうしようかいうことになってくると。その第1号が何と国宝1号でまだ一番でかい名古屋城になっちゃったと。だで慎重の上にも慎重にやらせさしてちょうと、これは文化庁のえら様に言われまして、そう言われるとしょうがないわねこれ。

それと議会との議論もありとそんなで、長々ここまで、しかしやってきた言うといかんですけど。そういうふうでお許し願えんかと市民の皆さんには。昨日か一昨日かライオンズクラブでも言っていましたけど頼むで、あと最低二、三年は長生きしてくれって、わしもそうだけど、というしかね、申し訳なかったとも言うんだけどね。しょうがねみたいですよ。

石垣の保存方法については確たる理論っていうのやっぱないみたですわね石垣は、自然石をああやって積んだってあるのを1個1個だけ外すのかと真ん中をとゆうことになると、だから石垣が上下左右前後に動いてないかと経年変化で、それをチェックしていくということであって、動いてなければ、例えば北東部にある石垣にあるはらみ自体でも、それはそれで安定してるんだとというふうに見えるんじゃないかという理論を、これ学者

から聞きました。そういうようなことになって、ようやくここまで来たということで、それは申し訳なかったで、やりたい気持ちだけだよ。

ちなみに本当に木造天守ができなかったら切腹するそれは言いましたけど、時期が延びたやつは、ええか。わかりました。